月唯口)

月日

3)

脈々と時代築く

2019ひろしまフラワーフェスティバル(FF) 最終日の5日、会場の広島市中区の平和大通り 一帯は多彩なパレードやステージが繰り広げら れた。世代を超えた大勢の人が笑顔を連ね、高 校生は平和への思いを踊りや書で表現した。障 害者たちでつくるダンスチームも躍動。新時代 へそれぞれの思いをつないだ。 (1面関連)



備後久松屋衣装にバラ琴の楽曲

福山パワー全開だ一。福山市のよさこいチーム 「備後久松屋」が、きんさいYOSAKOIのパレードやステージに初めて参加した。2022年に築城400年を迎える福山城の別名「久松城」から名付けたチームならではの演出をちりばめ、39人が全身で地元愛を表現した。

初披露した衣装はメンバーたちの手作り。瀬戸 内海をイメージした青を基調に、福山城を彩る桜 や、市の花のバラをあしらった。楽曲には名産の琴 の音をふんだんに取り入れた。「福山尽くし」の生 き生きとしたパフォーマンスで、沿道を沸かせた。

最年少の延広昌希ちゃん(4)は「笑顔で踊ったよ」。最年長の田代志子さん(75)も「幅広い年代が心を一つにして舞えた。元気が出る」と息を弾ませた。

17年2月の結成当初のメンバーは10人。地元の祭りで踊るたびに輪が広がり、念願のFF舞台を踏んだ。山田昌宏代表(50)は「観客の数が多くて楽しい。毎年、出続けたい」と力を込めた。

(江川裕介)

愛 心 つに